



LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

「図書館でキャリアを考える—国際機関で働く!」

- 開催日:10月17日(木)
- 講師:中野 美智子
(外務省 総合外交政策局
国際機関人事センター 課長補佐)



外務省国際機関人事センター職員の方を講師に迎え、国際機関で働く為に必要な情報を具体的に学ぶことができました。「大切な点は、自身が国際機関で働くことを通して何を成し遂げたいのかという情熱です」とのお話が印象に残る、自身のキャリアについて考えさせられる貴重な機会となりました。

エス・ディー・ジーズ **SDGs** × **選ぶ** おしゃれな雑貨屋さんやスーパーで、コーヒーやチョコレートなど、環境や労働条件に配慮したフェアトレードの商品を見かけることが多くなりました。これらの商品を積極的に購入することは、途上国の貧困の解消や経済的な自立の助けになります。年末に向けて贈り物をする機会が多い季節ですね。大切なあの人へのプレゼントに選んでみてはいかがでしょうか。

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)」は2015年9月、国連サミットで採択された世界を変えるための17の目標です。その中の1つに「8働きがいも経済成長も」があります。

日比谷カレッジ報告

「アフリカのバラが運ぶ幸せの連鎖」

- 開催日:10月20日(日) ●講師:萩生田 愛(AFIKA ROSE代表取締役)

フェアトレードのアフリカのバラの輸入・販売を営む萩生田愛さん。そのきっかけは、現地に学校を建てるプロジェクトに参加したときに出会った、強く、大きく、色鮮やかで生命力に溢れたバラでした。一方的な援助ではなく対等なビジネスとして最高品質のバラを世界へ届け、アフリカから貧困をなくすことを目指しています。



バラの選び方や、プレゼントするときのちょっとしたコツ、お手入れ方法なども紹介。

12月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F エレベーターホール
「WEB書評って?」(～12/25)
「面白い本はどれ?」「あのひとは、どんな本を推しているのかな?」そんな時に参考になるのが、本の感想や評価を記した「書評」です。新聞や雑誌に掲載された書評をWEB上で読むことができる無料閲覧サイトの中から、鹿島茂氏が書評したものをピックアップし、関連資料とともにご紹介しています。

2F パープルゾーン
「劇場・映画の街 千代田」(～2020/1/17)
数多くの劇場や映画館を有する千代田区。政治や経済の中心地としてだけでなく、宝塚や歌舞伎、映画の魅力がたっぷり詰まった、劇場・映画の街としての千代田区をご覧ください。

3F フルゾーン
「Beauty—美女とは?—」(12/17～2020/4/17) **NEW!**
表現の世界における「美女」。また、歴史上に名を連ねる「美女」。美女は人々の心をどのように動かしていくのか、その魅力に迫り、我々にとって美女という存在は一体何であるか、その真髄に迫ります。

展示 PICK UP

■3F グリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ～2020/2/14(金)

「集めてみた」



1階特別展「鹿島茂コレクション アール・デコの造本芸術」開催にちなみ、「集」をキーワードにさまざまなモノ・コトを「集めてみた」展示です。「あなたが集めているもの」のアンケートも実施。一緒に「集めて」みませんか?



『書庫を建てる』
松原 隆一郎 著
堀部 安嗣 著
新潮社 2014年



『検索法キノート』
宮沢 厚雄 著
樹村房 2018年



『忘れる力 思考への条件』
外山 滋比古 著
さくら舎 2015年



■2F パープルゾーン 三角台 ～12/25(水)

1階特別展 鹿島茂コレクション アール・デコの造本芸術 関連展示



1階特別展にあわせて、アール・デコ様式のデザインに関する資料を、挿絵やタイポグラフィの他、建築やファッションなどの幅広い分野から集めました。フランス文学者鹿島茂氏の著作物も展示しています。また、コレクターとしての一面を持つ鹿島氏にちなみ、単なる「道楽」では済まない、蒐集家のコレクションに対する情熱や、奥深い蒐集道を描いた本なども置いています。ぜひお立ち寄り下さい。



『明日は舞踏会』
鹿島 茂 著
作品社 1997年



『鹿島茂コレクション フランス絵本の世界』
鹿島 茂 著
群馬県立館林美術館
東京都庭園美術館 監修
青幻舎 2017年



『どうしても欲しい!』
エリン・L・トンプソン 著
松本 裕 訳
河出書房新社 2017年

特別研究室の古書で 時代を航海する

特別研究室企画展示 内田嘉吉文庫の地理書から知る古書の世界 ～17-20世紀初頭の都市図を中心に～

特別研究室には図版が豊富な洋書で、挿絵をご覧いただくだけでも楽しめる貴重な古書を多数所蔵しています。今回の企画展示では17～20世紀初頭に発行された世界各地の都市図に魅力がある地理書、さまざまな挿絵が収められた航海記を中心に紹介しています。当時の世界各地の様子が目の前に広がる資料を手にしていただき、古書の面白さに触れてください。

開催中～12/28(土)

開室時間:平日10:00～20:00(土曜～18:00、日・祝～16:00)
会場:4階特別研究室 **入場無料**

展示図書

- 『Old decorative maps and charts』
……………Arthur L. Humphreys著 1926年
- 『新編航海旅行記全集』……………John Green著 1746～48年
- 『ラ・ペルーズ世界周航記』……………La Perouse著 1797年
- 『A voyage to CochinChina』……………John Barrow著 1806年
- 『Bladen over Japan』……………J. H. Levissohn著 1852年
- 『世界周航誌』……………クルーゼン・シュテルン著 1813年(ほか)

帆船図版 / 長崎港と市街図 1802年
『Western barbarians in Japan and Formosa in Tokugawa days. 1603-1863』
M. Paske-Smith著(1930年)より



▲コンスタンティノープル市街図(イスタンブール)16世紀末
『Old decorative maps and charts』Arthur L. Humphreys著(1926年)



▲イースター島(チリ)18世紀末『ラ・ペルーズ世界周航記』ラ・ペルーズ著(1797年)



▲出島市街図(長崎)1820年頃『Bladen over Japan』J. H. Levissohn著(1852年)

都市図

コンスタンティノープルは東ローマ帝国の首都として栄え、1453年にオスマン帝国により陥落。城壁で囲まれた市街には聖堂や競技場、トプカプ宮殿が見えます。図の下方にはオスマン帝国歴代皇帝が描かれています。1574～1618年にかけて発刊された『Civitates Orbis Terrarum』より。

航海記

ラ・ペルーズはルイ16世の命により1785年に太平洋の探検に派遣されました。イースター島には、出航から8ヶ月後に上陸。多数収録されている太平洋島々の民族や風景を描いた図版の中の1点です。

日本

江戸時代後期の出島。1641年から1859年までオランダ貿易が行われオランダ国旗が掲揚されていました。当時の出島の街並みが忠実に描かれています。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館企画展示

いまさら聞けない? 芥川賞・直木賞

日本の代表的な文学賞といえば芥川賞と直木賞。ところが、名前だけは知っているけれど、どんな賞なのかはよくわからないという人も多いはず。そこで、年末年始の選考・発表時期に、賞が制定された経緯や選考の裏エピソードなど、意外と知られていない芥川賞・直木賞の実態をパネルで紹介。もちろん受賞作も展示・貸出します。

会期
11月25日(月)
▼
2020年2月21日(金)
会場
千代田図書館9階
展示ウォール



calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2019年12月							2020年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

information
部分(図書フロア)休館のお知らせ
2020年1月18日(土)、19日(日)
図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部資料をのぞく)図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。
※1月20日(月)は全館休館日です。(文化財施設事務室は除く)
access [都営地下鉄] ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
[東京メトロ] ●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分 ●JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

12・1月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/13 (金) 食からアメリカを変革するーポストランプ時代の足音

講師:鈴木 透(慶應義塾大学法学部教授)

食べ物、それは、未来を切り開く可能性を秘めた記憶装置。本講座では、移民排斥や格差など閉塞感の漂う現代アメリカにおいて、ファーストフードの影に隠れた豊かな食文化の再発見を機に、食が新たな社会変革の基点に浮上しつつある様子を紹介し、ランプ後の超大国の行方を展望します。



©Burgerlounge

- 日時:12月13日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円

12/18 (水) 1万5千冊を装幀した男、菊地信義さんに聞く。装幀って、本ってなんでしょう。

講師:菊地 信義(装幀者)
聞き手:菱沼 達也(青土社書籍編集者)

菊地信義氏は、これまでに1万5千冊以上の本を装幀し、40年以上に亘り日本のブックデザイン界をリードしてきました。今回は、本と読者をつなぐことを常に考え



©2019「つつんで、ひらいて」製作委員会

ながら装幀をしてきた菊地氏に、「装幀とはなにか」「これからの本について」など、青土社書籍編集者 菱沼達也氏を聞き手にお話を伺います。

- 日時:12月18日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円

1/10 (金) 芸人とランナー ~猫ひろし、オリンピックへの挑戦~

講師:猫 ひろし(芸人・ランナー)

お笑い芸人「猫ひろし」は、なぜマラソンを走るようになったのか。ロンドン大会出場決定から取り消しの真相、リオデジャネイロ大会選手村での衝撃の出来事、そして、42歳で目指す東京2020大会への思い。マラソンというスポーツの魅力やレース観戦のポイント、市民ランナーやこれから走り始めたいという方へのアドバイスも伺います。



- 日時:1月10日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:500円

1/10 (金) 荷風の愛した春夏秋冬ー日本近代の季節文学をあじわうー

講師:持田 叙子(近代文学研究者)

永井荷風は季節を人生のたいせつな友として生きました。花と小鳥、落葉や枯葉を愛しました。落葉掃除が趣味でした。和傘に春雨のふる繊細な音、新緑の色、虫の音。季節を愛する荷風の暮らしには沢山の愛が息づいています。ごいっしょに荷風の美しい文章を読み、季節の文化をあじわう達人になりましょう。



- 日時:1月10日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円

1/16 (木) 5G時代の未来像、そして我々の生活にもたらされる革新とは

講師:亀井 卓也(株式会社野村総合研究所ICTメディア・サービス産業コンサルティング部テレコム・メディアグループマネージャー)

2020年春、いよいよ「5G」の通信サービスが始まります。新聞や雑誌などでも5Gに関する特集が組まれるなど、目にする機会が多くなってきました。5G時代を迎えるにあたって、そもそも5Gとは何か、どのようなサービスが想定されているのか、そして社会や我々の生活がどう変わるのかについて解説します。



- 日時:1月16日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円

1/17 (金) 千代田区民講座 元気で長生きするために

講師:前田 美恵子(日本免疫研究会常任理事)

「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、頑張らなくてもできる生活習慣改善や、健康管理、予防医療についてお話しいたします。
(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:1月17日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:無料
- ※12月5日(木)から千代田区民受付開始。区民以外は12月12日(木)から受付開始。

1/23 (木) 素粒子物理学シリーズ第2弾 素粒子と対称性 ~宇宙は右利きか左利きか

講師:三原 智(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授)

プラスとマイナス、右巻き左巻きなど、さまざまな対称性は素粒子の世界でも大切な役割があります。素粒子の「対称性」は究極の対称性でしょうか、対称なように見えるだけででしょうか。本講演では、対称性をもとに宇宙の成り立ちを理解しようとする素粒子物理学の試みについてお話します。



- 日時:1月23日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円

1/24 (金) 日本の外国人コミュニティからみる多文化社会

講師:室橋 裕和(アジア専門の記者、編集者)

多くの外国人と共に生きる時代を迎えた日本で、お互いが気持ちよく暮らしてゆくために、相手を知り歩み寄る社会が必要になっています。そこで近年、多国籍化が進む新大久保を中心に在日外国人が集住するコミュニティについて、タイで外国人として暮らした経験をもつ講師に実体験を交えてお話しいたします。



- 日時:1月24日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円

◆古文書塾てらこや体験講座◆

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。1月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずは体験講座をお試ください。

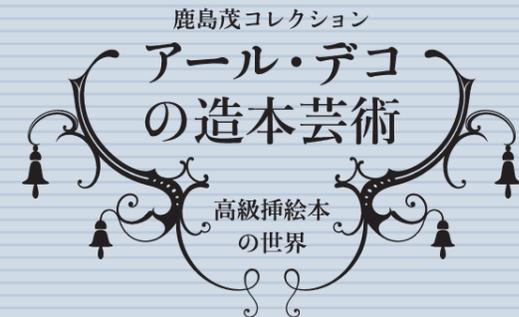


	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00~	12/17
	商家文書を読みとくー三井の子弟教育	(水)19:00~	12/18
	江戸を楽しむー江戸の寺社あれこれ	(木)18:30~	12/19
	花街のおもてなしー上七軒、はんなり文化の伝承	(木)19:00~	12/12
	江戸・明治の書状を読むー形式と内容、一歩から	(金)18:30~	12/20
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30~	12/21

- 参加費:各講座1000円
- 定員:各講座23名(事前申込順)
- 会場:4階 セミナールーム(会議室)
- 資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや担当迄

体験講座
各講座
1000円

千代田区立日比谷図書文化館・特別展・



2019.10.24 THU—12.23 MON

フランス文学者の鹿島茂氏の個人コレクションの中からアール・デコ四天王と呼ばれるバルビエ、マルティ、マルタン、ルパップの挿絵本やファッション・プレートなど合わせて約100点を紹介する特別展「鹿島茂コレクション アール・デコの造本芸術 高級挿絵本の世界」の会期も残りわずかとなりました。アール・デコならではの優雅で繊細な世界は、眺めているだけで幸福感に包まれます。アール・デコが華やかだった時代の革新的なデザイン感覚を持ったイラストレータと高度な技術を持った印刷職人によって奇跡的に生み出された高級挿絵本の世界をお見逃しなく。

会期
開催中~12月23日(月) ※ 休館日12月16日(月)
観覧時間
月曜~木曜10:00~19:00、金曜10:00~20:00、
土曜10:00~19:00、日・祝10:00~17:00
※入室は閉室の30分前まで
観覧料:一般300円 大学生・高校生200円

M * E * R * R * Y * C * H * R * I * S * T * M * A * S !

クリスマス が近づく日比谷界隈はイルミネーションで街が宝石箱の様に輝きます。少し冷たい空気の中で光り輝く街並みは、それだけで温かく幸せな気持ちにさせてくれます。日比谷図書文化館では、今年も1階のクリスマスツリーでご来館の皆さまをお迎えます。また、コンシェルジュによる周辺のイルミネーション情報をご案内していますので、1年で一番輝く季節を過ごしにいらしてください。 ~12月25日(水)まで

